

「笑ひ」は 新潟を救う!

NPOお笑い事業団ニイガタ
～10年の歩み～



一日一笑、笑って一生！

21世紀を笑いの世紀に！

県民の1%をお笑い会員に！

NPO法人 お笑い事業団ニイガタ ～10年の歩み～

< 目 次 >

1、10周年に寄せて	理 事 長	今 井 誠	… 1
2、祝 辞	新 潟 市 長	篠 田 昭 様	… 2
	北方文化博物館 館長	伊 藤 文 吉 様	… 2
	日本笑い学会 会長	森 下 伸 也 様	… 3
3、お笑い事業団ニイガタ 10年の歩み			
	<誕生期> 夢と希望に満ちた船出		… 4
	<模索期> なかなか思い通りに行かないが、笑いで乗り越えよう		… 7
	<転換・発展期> 模索の中から、今はこのような活動を		…11
4、派遣事業に重点を移した活動と、お笑い芸人たち			…15
5、資料集			
	① “お笑いを科学する”		…19
	② 幻となったプログラム ～中越地震に遭遇して～		…21
	③ 派遣実績の詳細		…23
	④ お笑い事業団の歴史		…25
	⑤ 概要・組織図・役員・会員人数		…27
6、編集後記（あとがき）			…31

10周年に寄せて

NPO法人 お笑い事業団ニイガタ 理事長 今井 誠



私が呼びかけ人になって、NPO法人お笑い事業団ニイガタを設立してから間もなく10年になろうとしています。

「一日一笑、笑って一生！」

「21世紀を笑いの世紀に！」

「県民の1%をお笑い会員に！」

のスローガンを掲げて華々しくスタートした当「お笑い事業団」でしたが、振り返ってみれば、笑いと涙と苦闘の連続でした。スタート当初、一年で500人にも達した会員は、今では、めっきり減少してしまいました。会員交流の場として取得した新潟市内の「お笑いクラブハウス」も、残念なことに3年余りで閉店に追い込まれています。著名な芸人・内海桂子、桂歌丸などを招いての「第6回・越後笑劇場」は、前夜の中越地震のため当日朝に急遽中止となり、その翌年の被災者支援を目的とした「第7回・越後笑劇場」は、会場がほぼ満席になったものの、多額の赤字を出すに至りました。

当初予期していなかったこうした諸事情が重なり、多くの関係者にご迷惑をおかけする結果となりました。それでも、今日に至る過程で中越地震の被災者をはじめ、高齢者や障害者など多くの県民に「笑いと笑顔」をお届けすることができました。

その後、NPO本来の事業を推進するため、それまでNPOの傘下にあった「お笑いクラブNiigata」と「日本笑い学会・新潟支部」の組織・運営をNPOから分離し、NPO法人お笑い事業団の事業を「お笑い芸人・お笑い講師の派遣事業」に特化してまいりました。最近になってようやく当事業団の派遣活動が各方面から評価され、派遣事業が軌道に乗りつつありますが、大変喜ばしいことです。こうした成果は、この間の「試行錯誤」と「関係者の善意の協力」によってようやく獲得できたものであります。苦難にめげず、各種お笑い事業の企画・開催、派遣事業の実施、NPOの運営などにご尽力を頂いた会員、スタッフ、登録芸人に対し、この場を借りて改めて感謝申し上げます。また、この間、当事業団の芸人等の派遣を受け入れて頂いた各種団体、企業、学校、地域の皆さんに対しても改めて厚く御礼申し上げます。協賛・広告などの面でお力添えを頂戴した協賛企業、マスコミ各社、行政各位に対しても改めて厚く御礼申し上げます。

10周年の記念すべき年を機に「笑いは新潟を救う」を旗印に、今一度初心に立ち返って、市民のためのお笑い事業により積極的に取り組んで参りたいと存じます。

祝 辞

新潟市長 篠田 昭 様



NPO法人お笑い事業団ニイガタが記念すべき設立10周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

お笑い事業団ニイガタは、平成13年の設立以来精力的に活動され、そのユニークなイベントにより笑いを広め、さまざまな場面で新潟を元気にしてくださっています。

笑いは人間にとってなくてはならないものです。私たちの心や健康にとって最良の薬であり、人間関係を豊かにしてくれます。そして、つらいことや苦しいことも吹き飛ばすエネルギーが笑いにはあります。

これからも皆さまの生み出す笑いが、新潟をより豊かで元気にしていただけることをご期待申し上げます。

結びに、お笑い事業団ニイガタが設立10周年を契機にますます発展されることを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

(財) 北方文化博物館 館長 伊藤文吉 様



今井誠さんが、「お笑い事業団」を設立されて10年になると聞き、時の流れの早い事に今さらの如く、正に「光陰矢の如し」と感じます。当時、今井弁護士さんのお笑い集団を設立される話を聞いた時、本当の所、驚いた事を思い出します。法廷で検事と真剣に渡り合う弁護士さんが「お笑い集団」を考える事は当時私には全く理解出来ませんでした。でも今井誠さんという人柄をよく知るようになって、その意味がだんだんと理解出来るようになりました。アメリカインディアンの言葉で「何を決定するにも七世代先をみて物事を決める」日本人には十年一昔と言って十年を一束にして物事を考えますが、ドイツでは百五十年を一昔と考えているのも国民性がわかります。物事を動かす時には大きな力が必要ですが、動き出すと割合小さな力でも動いてゆくものです。

ここまで人の集団が大きくなってきた「お笑い事業団ニイガタ」に、これから「社会が持つ期待」に対する責任は大きいと思います。

祝 辞

日本お笑い学会 会長 森下伸也 様



お笑い事業団ニイガタの設立10周年、おめでとうございます！日本笑い学会の会員1000人を代表してお祝いを述べさせていただきます。

私は新潟へ行ったことは一度もありませんが、お笑い事業団の活躍ぶりはテレビのドキュメント番組等でよく知っています。越後笑劇場、国際お笑いフェスティバル、福まき大会、お笑いコンテスト等々、なんて多彩で、アイデア豊かで、エネルギーッシュな活躍ぶりでしょう。しかも、辛く苦しい世の中に、笑いとユーモアの力で幸福のともしびを精いっぱいつけようとするやさしさと思いやりが、ぎっしり詰まっているではありませんか。わが日本笑い学会の願いの最もよき体现者をここに見る喜びを感じます。

このせち辛い世の中、お笑い事業団がますます大きな希望の光となり、人々の明るい心のよりどころとなりますよう、「笑い」のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

(社) 漫談協会 名誉会長 内海桂子 様 からのメッセージ

10周年おめでとうございます。

10年は、まだまだスタートラインです。
これからの10年に期待しています。

いつまでも、「お笑い事業団ニイガタ」の応援団として、東京から見守っていますので、どうかこれからも頑張って、新潟を笑いの渦に巻き込んでください。期待しています。



＜NPOお笑い事業団ニイガタ＞10年の歩み

誕生期

～ 夢と希望に満ちた船出 ～

「笑」

平成13年1月（2001年）

“新潟に笑いを振りまこう”と、夢は大きくスタートを切った。今井誠以下21名が発起人となり、暗くなりがちな世相を「笑いの力」で明るく活気あるものに変えようと「設立準備委員会」を設置した。まったく試行錯誤の状態、不安もあったが、全員の心は熱いものがあった。

設立準備委員会メンバー

※ あいうえお順・肩書は2001年当時

氏名	肩書	氏名	肩書
荒川義信	グリーン産業社長	石本晃雄	会社員・劇団無形舎所属
市田文弘	新大名誉教授・医師	江口 歩	お笑い集団NAMARA代表
今井 誠	弁護士	大田朋子	新潟弁研究家・専門学校講師
斉藤純子	ポーラ新潟販売	佐藤 悟	新潟日報事業社社長
鈴木正平	グリーン産業営業部長	須田和行	ととや社長
袖山由美子	スエニョ＜夢＞企画代表	高山憲治	NHK新潟文化センター所長
樋口冬子	NAMARA事務局	丸田祥子	ナルニア店長
柳本雄司	考古堂社長	山本早苗	コーヒー村代表
山本一哲	総合生協副理事長	横山芳郎	江戸文学研究科・医師
若山浩一	メディカルプランナー新潟社長	渡邊忠義	MacサポートRingo99
渡辺伸義	シネ・ウインド・水都・寄席		

平成13年6月（2001年）

「お笑いクラブniigata」設立総会開催（於、三業会館）

総会には、会員130名が参加。記念イベントでは、「NAMARA」の応援や、落語・マジックなどで盛り上がり、ともかく第一歩を好スタートで切ることができた。



＜NPOお笑い事業団ニイガタ＞10年の歩み

平成13年8月（2001年）

「お笑い事業団ニイガタ」設立総会を開催（於、白山会館）

NPO法人申請に必要な100名を大幅に上回る250名の会員応募があり、興奮を覚える。記念のアトラクションでは、江戸文物研究家の横山氏、新潟の女流噺家、水都家小鶴さん、落語協会理事の柳家さん吉さんの落語などで大いに盛り上がる。



平成13年9月（2001年）

NPO法人を申請し、同年12月に県知事の認証を得て、平成14年1月に法人登記を完了。「NPO法人 お笑い事業団ニイガタ」が誕生。

「笑」

平成14年2月（2002年）

「笑いの福まき」を開催（於、万代シティパーク）

豆まきの後、理事全員が仮装して、「お笑い事業団ニイガタ」の記者会見に臨む。



平成14年2月（2002年）

第1回の「越後笑劇場」を開催

（於、万代市民会館）

テーマは、「お笑い交流笑学校」

子供からお年寄り、そして、多国籍の人たちが参加し、大いに笑って楽しんだ。



＜NPOお笑い事業団ニイガタ＞10年の歩み

平成14年5月（2002年）

「国際お笑いフェスティバル」開催（於、ユニゾンプラザ）

この年、ワールドカップサッカー新潟開催に合わせて異文化交流を行った。初の外国人女性お笑いコンビ、「イザベルとベネ」も参加した。



平成14年6月（2002年）

「ウエルカムパレードin NIIGATA」に参加し、“ファンイプレー賞”を受賞する。

このイベントも、ワールドサッカーを新潟から世界に発信するという趣旨のものであった。ファインプレー賞受賞理由に「よく、こんなしょーしい事を恥ずかしげもなくやったもんだ」というお褒めの言葉（？）があった。



平成14年7月（2002年）

「お笑いクラブハウス」を新潟市上大川前通に開設。みんなが気楽に集える場所として常設し、平成17年3月まで「笑いの発信基地」として活用する。



平成15年11月（2003年）

「第4回越後笑劇場
（お笑い学園駅前分校）開催
（於、駅前ガレツソホール）



平成16年2月（2004年）

「第5回越後笑劇場・春の陣」
（於、駅前ガレツソホール）

<NPOお笑い事業団ニイガタ>10年の歩み

模索期

～ なかなか思い通りに行かないが、
笑いで乗り越えよう ～

中越地震という天災に遭遇したことに加えて、当初の目標であった「全員参加型お笑い事業」の継続が、ボランティア会員数の減少や、会費納入会員の減少などで難しくなる。苦難と模索の時期を迎えた。そして、事業の見直しを行い、同時に会員の再登録をお願いすることとした。

平成16年5月(2004年)

3周年記念イベントとして、日本笑い学会、会長＝井上宏氏に「笑いの効用」と題して、講演をお願いする。(参加者約100名)

平成16年10月(2004年)

第6回「越後笑劇場・秋の陣」を計画したが、実施前日の「中越大地震」で急遽中止になった。内海桂子師匠、桂歌丸師匠をはじめ、その門下生など豪華メンバーを迎えるビッグイベントを企画してきた。しかし、天災ではどうすることも出来なかった。

準備万端、明日の開催を待つだけと、最終確認が終わった午後5時56分頃地震が発生した。

中止の最終決定は、開催当日の午前7時。日の目を見ないで処分されることになった幻のプログラムは、当日会場に来られた方々に配られた。苦勞して準備にあたってきただけに、しばらくは「地震被災者」のように落ち込んでしまった。そして、後処理に3ヶ月もかかった。

(今井誠、詳細は資料P21参照)

<幻のプログラム>



平成16年11月(2004年)

「わっはっは! 笑いでエール! 被災地がんばれ」をテーマに、チンドン隊を編成し、古町通りをチャリティ募金行進を実行した。

<NPOお笑い事業団ニイガタ> 10年の歩み

平成16年11月（2004年）

被災地の小千谷市にキャラバン隊を派遣し、公演会を開催し被災住民を励ます。

中越地震の後、新潟からバスを仕立てて慰問に行きました。地震を境に閉じこもりがちだった方々が、「今日は笑いたくて参加しました」と言われたので張り切りました。

最後に「嫌なことを紙に書いて飛ばしちゃいましょうよ」と言って、黄色い風船に託しました。

（袖山由美子）



中越地震の直後でした。多くの地域で被災者の方々が困難な生活を強いられる中、同じ新潟県民として彼らを励ましたいと、（中略）どじょうすくいに腹話術、そしてずっこけチャップリン！会場にいる一人一人に気を配り、笑わせるだけでなく優しい暖かい雰囲気全員を包み込む公演でした。「地震が起きてから全く笑うことがなかった。今日は本当に嬉しい」目に涙を浮かべておっしゃっていた方々の笑顔が忘れられません。・・・ <NHK中澤陽子さんのコメント>

平成17年3月（2005年）

「全国笑リンピック」に出場し、銀メダルを受賞。

笑つながりの義理（？）もあり、一人で参加しました。当初は参加するだけでいいという約束だったのに、出たからには入賞をと、更にはメダルをお土産にと、どんどんエスカレートしてプレッシャー一杯でした。銀メダルが取れて本当に良かったです。（袖山由美子）



<NPOお笑い事業団ニイガタ> 10年の歩み

平成17年3月(2005年)

「お笑い届け隊」養成講座(新潟市生涯学習センター主催)に、新潟市からの要請で、当会の会員が交代で講師を務めた。

平成17年5月(2005年)

4周年記念イベントとして、「笑って健康大作戦」を開催(於、万代市民会館) 医学博士号を有する小泉元総理に似た、Drマジシャン=伊藤美喜氏の健康講話とマジックで会場は大爆笑。参加者は150名。

平成17年8月(2005年)

「新潟まつり仮装ちンドンパレード」を実行。今井理事長以下、会員有志とゲスト参加の「越のちンドン」「高崎チンドン倶楽部」「高志高校吹奏楽部」及び新聞公募の市民50名が参加。

いやーお笑いの衆
たちと仮装してチンドンパ
レードしたのは、ばっか暑ちえ夏の日ら
ったわ! 高志高校の吹奏楽部の可愛げな、
若〜け娘がいっぺこと加わったすけ、沿
道の注目の的らったてえ・・・
(喜多村園子)



<高崎チンドン倶楽部 杉浦芳郎座長からのメッセージ>

私たちとお笑い事業団との出会いは、袖山さんからチンドン太鼓を作って欲しいと依頼されたことがきっかけでした。そして、初めて事業団の行事に参加させていただいたのは、04年2月に駅前ガレソンホールでのイベントに4名でチンドンを披露したことです。翌年の8月8日に新潟まつりに参加させていただきました。暑くて大変だったことを記憶しています。これからも、お笑い事業団ニイガタが益々笑いの輪を広げていかれることを祈念申し上げます。

< N P O お笑い事業団ニイガタ > 10年の歩み

平成17年12月(2005年)

第7回「越後笑劇場・冬の陣」開催(於、新潟市芸術文化会館りゅーとぴあ)
“わっはっは 笑いでエール被災地がんばれ”とし、被災者300名を無料招待する。
参加者は、昼の部・夜の部合わせて約1500名と盛大でした。
出演者には、内海桂子、ピーターフランクル、林家たい平ほか7名を迎えた。



中越地震から早、1年5ヶ月が過ぎました。

地震直後には皆様にお出でいただき、身も心も疲れていた私たちに、何よりもありがたい“元気と笑い”そして会場に集まった100名のお年寄りが「生きる力」をいただきました。

ありがとうございました。
(小千谷公民館館長 広井 一)

平成18年4月(2006年)

小千谷の高齢者学級「富久寿大学」に、元気と笑いを届ける派遣事業を行う。

平成18年4月(2006年)

「お笑いクラブ」と「日本笑い学会新潟支部」の組織を「お笑い事業団」から分離し、会員も再登録の上、新しい組織として再スタートを切る。

さらに、4月定例総会において、今後の活動の重点を「芸人・講師の派遣事業に転換する」と、方向に転換を決める。

< N P O お笑い事業団ニイガタ > 10年の歩み

転換・発展期 ～ 模索の中から、今はこのような活動を ～

平成18年4月の定例総会にて、活動の重点を「芸人・講師の派遣に転換」する方向を決める。組織の分離・独立という厳しい現実の中にあっても、NPO法人の原点に戻って、地域の皆さんに笑いをお届けするために出来ることからやり直そう！と新たなスタートを切った。同時に、お笑い芸人の発掘・養成にも力を入れる。

平成19年4月（2007年）

派遣芸人養成のため、「お笑い教室」を開校

校長先生：椿 利策

講師：藤井一男（元ちびっこギャング）

今までラジオ・テレビを通して漫才や落語に興味を持っていました。そこへ「お笑い事業団ニイガタ」が「お笑い教室」の受講生を募集していることを知りました。何よりも受講料が無料で笑いを学ぶことができるということで迷わず参加しました。椿校長や藤井講師のご指導により、11月に発表会が出来て嬉しかったです。おまけに多くの笑いを求める人たちに会えたのはありがたいことでした。（清水 勝）



平成19年11月（2007年）

「お笑い教室」卒業記念公演を開催（於、新潟ふるさと村）

お笑い教室は、最初から賑やかさと華やかさにつつまれていたようで、毎回出される宿題にも、皆さん熱心なんです。私とは言えば、折角覚えたセリフも人前に立つと真っ白に飛ぶほどでした。発表会間近の帰り際に、警察官だからポリス田村だねと、いとも簡単に芸名が付いて帽子を寄付されたり、ネクタイはこの赤がいいわ！と、頂き物ばかり。皆さん舞台度胸のいい人揃いで、決めたテーマは“初舞台みんなやれば怖くない”でした。（田村敏雄）



＜NPOお笑い事業団ニイガタ＞10年の歩み

平成20年5月～11月（2008年）

「ふるさとお笑い教室（お笑い使節団養成）」開催
 プロの講師、大瀬うたじ師匠から笑いの技術を習得する。
 全20回、新潟ふるさと村「ふるさと越後の家」で実施する。



平成20年11月（2008年）

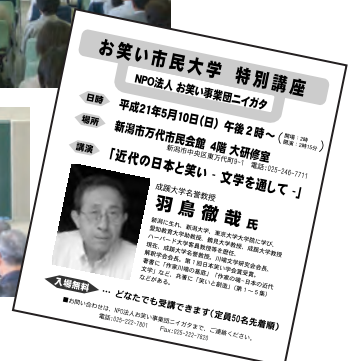
第8回「越後笑劇場」開催（於、新潟ふるさと村）
 「ふるさとお笑い教室」の成果を披露する。



平成21年5月（2009年）

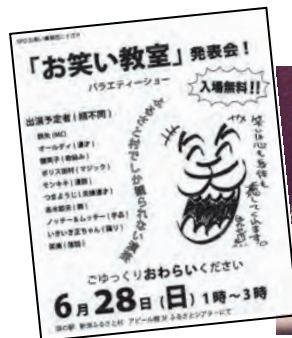
第1回「お笑い市民大学」を開催。講師に成蹊大学名誉教授＝羽鳥徹哉氏を迎え、「近代の日本と笑いー文学を通して」と題した講演をお願いした。従来のお笑い公演とは趣向を変えて、少々固い笑いと言学という、専門的なお話を聞くことができた。翌日の新潟日報には「古事記の時代から日本文学には笑いがあふれていたが、その時代の政治状況などによって消えることもあった」と紹介している。「笑い」をいろいろな角度から考えるいい機会であった。

まず、会場に入った時、集まったメンバーが知識人の集まりなのだと思います。笑いが“天のうずめの尊”の頃からあったと聞いてびっくりしました。江戸時代は、庶民は、何も言えない苦しい時代だったと思いますが、「笑い」によって息抜きをしたのだなあと思うことが分かってびっくりしました。（Oさん談）



平成21年6月（2009年）

「お笑い教室」発表会を開催
 （於、新潟ふるさと村）
 バラエティショーを開催し、日頃の練習成果を発表。



< N P O お笑い事業団ニイガタ > 10年の歩み

平成21年11月（2009年）

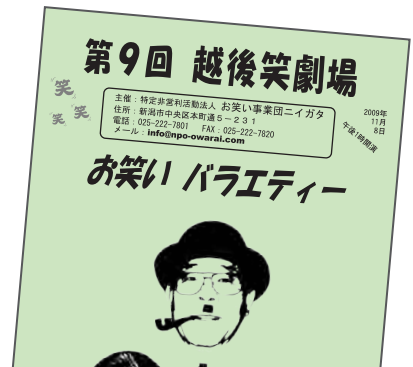
第9回「越後笑劇場」開催（於、新潟ふるさと村）
日頃の成果を披露し、プロも交えての発表会となる。
シアターいっぱい笑いに包まれる。

<出演者・新潟にゆかりの芸人さん>

みやちゃん（指笛）、きぬがさ（NAMARA漫才芸人）、水都家小鶴（女流噺家）に加え、事業団所属の芸人など



なお、特別出演として、理事たちが「白波5人衆」ならぬ、「しらねえ5人衆」に扮して芸人顔負けの、隠れた才能を披露した。



平成22年4月（2010年）

第2回「お笑い市民大学」を開催。新潟大学教授＝井山弘幸氏による「笑いの現在」と題して、テレビでおなじみの話題を盛り込んでの講演であった。

<講演要旨>

- 1、笑芸の鑑賞における現在
「エンタの神様」「M1グランプリ」
「すべらない話」「上方演芸」など
- 2、笑芸の技法にみられる現在
針小棒大、論理の崩壊、ダブルボケなど
- 3、笑いという行為の現在
廃れるヒエラルヒーの笑い、KYとならないために自己防衛の笑い、癒しと救済の笑いなど



「笑い」を学問的に研究している人がいるということに驚きました。自分自身を振り返ってみると、笑うということが少ないので、笑いを日常生活に取り入れられたらいいなあと再認識させられました。真面目な人たちが、笑いというものに真剣に取り組んでいらっしゃる姿にカルチャーショックを受けました。新潟の地は、笑いの文化がないので、最初は「笑い」というものに違和感があったけど、今は、新潟にとって「笑い」は、とても大切だと思っています。

（Uさん談）

＜NPOお笑い事業団ニイガタ＞10年の歩み

平成22年6月（2010年）

「ふるさとお笑い教室」発表会（於、新潟ふるさと村）
 昨年に引き続き、日頃の練習の成果を発表。
 少しずつプロに近い芸を身につけて来た。



ふるさと村「お笑い教室」発表会2010

道の駅
 新潟ふるさと村 アピール新潟ふるさとセンターにて

入場無料!

出演予定者
 ボリス田村とM(司会)
 結つけ発心C喜劇ガールズ
 オールディ(ギター漫才)
 ノッチー&ムッチー(マジック)
 ツインタワー(漫才)特別出演
 太田笑子(音語り)
 モンキキ(漫談)
 つまようじ(共演漫才)
 赤ん坊(マジック)
 榎都亭笑楽(落語)

舞台 田野圭雄
 構成 山崎敏雄
 企画 大越洋一
 脚本 北村しず子・手

お問い合わせ
 新潟県お笑い事業団ニイガタ
 住所 新潟市中央区清五郎5番231
 電話 025-222-7801

6月27日(日曜)1時~3時

平成22年11月（2010年）

11月23日（火）に、「設立10周年記念事業」として、「第10回越後笑劇場」と「第3回お笑い市民大学」を開催する。

笑いで新潟を救います

NPO法人 お笑い事業団ニイガタ 設立10周年記念事業

日時 平成22年11月23日(祝・火)
 午後1時30分～(開場:午後1時)

場所 「天寿園」ホール
 新潟市中央区清五郎633-8 電話:025-286-1717

第1部 1時40分
 ・記念式典
第3回 お笑い市民大学
「笑いと健康のステキな関係」
 日本笑い学会北海道支部長・医学博士
 講師: **伊藤一輔氏**

第2部 3時15分
第10回 越後笑劇場
 ・「司会」ボリス田村 ・「ギター漫才」オールディ
 ・「マジック」真さんマジック ・「夫婦漫才」つまようじ
 ・「落語」バベツ岩島 ・「漫談」飯田恵輔
 ・「落語」榎都亭笑楽 ・他

4時30分
 ・「アカデミック漫談」人星亭喜楽 秋朗
 日本笑い学会東北支部次田原幹事

第1部、第2部は 入場無料 定員150名
 ※ お早めにお申し込み下さい。(定員になり次第、締め切り)

第3部 5時00分
交流懇親会(会費4000円、要事前申込)
 「アトラクション」・イキキキ正ちゃん・高木節男・他

■ 主催: NPO法人お笑い事業団ニイガタ 電話:025-222-7801 / Fax:025-222-7820
 □ 後援: 新潟市、日本笑い学会 ※ アトラクションは変更になることもあります。 新潟市補助事業

NPO法人 お笑い事業団ニイガタ 設立10周年記念事業

第10回 越後笑劇場

お笑い市民大学 特別講演

日時 平成22年11月23日 午後1時30分～
(開場:午後1時)

場所 「天寿園」ホール
 新潟市中央区清五郎633-8 電話:025-286-1717

講演 「笑いと健康のステキな関係」
 日本笑い学会 北海道支部長
伊藤一輔氏
 国立病院機構函館病院副院長、医学博士。
 1947年北海道生まれ。弘前大学医学部卒業。専門は
 循環器内科・循環器心身医学。北海道大学循環器内
 科、東京女子医科大学日本心臓病研究所、国立病
 院機構函館病院を経て、2006年より現職。
 日本笑い学会理事と同学会の北海道支部長を務め、
 笑いと健康に関する講演を各地で行っている。

公演 ・発表会 …事業団所属の県内のお笑い芸人たち
 ・「アカデミック漫談」人星亭喜楽 秋朗
 日本笑い学会東北支部次田原幹事、漫画多難立笑い専攻研究所長、
 笑学博士、ユーモア芸術コンサルタント、素人料理人・味野吉三、
 フラワーアレンジメント東京・沼の坊千円、俳優予定名・あんだまさか

入場無料 … 定員150名 ※ 定員でも参加できます。
 ※ お早めにお申し込み下さい。

■ 主催: NPO法人お笑い事業団ニイガタ 電話:025-222-7801 / Fax:025-222-7820
 □ 後援: 新潟市、日本笑い学会 新潟市補助事業

入場整理券 No. 175

設立10周年記念事業
第10回 越後笑劇場

日時: 11月23日 午後1時72分開演
 会場: 天寿園「ホール」

お名前を下欄にご記入下さい

開演後は席を開放しますので開演までにお越し下さい。
 主催: NPO法人 お笑い事業団ニイガタ

入場整理券券

派遣事業に重点を移した活動…お笑い使節団

～ 派遣事業でこんなに喜ばれています ～

活動内容

各種施設や団体などからの出演要請に対して、芸人登録者の中から派遣し、笑いを提供している。派遣先からは大変喜ばれ、継続的に出演要請が来ている。

今までの活動実績は次のとおりである。(資料P23参照)

年度	派遣実績(回数)	顧客数(人)
平成18年度	13	520
平成19年度	38	1140
平成20年度	58	2030
平成21年度	64	3427
平成22年度(9月迄)	27	972
総計	200	8289

派遣チームリーダー、鈴木正平の報告

1、派遣先の状況

平成18年度から、事業団の活動の重点を「派遣事業」に転換してから、お笑いを「出前」することになった。上の表のとおり、現在までに200回の出演実績があり、延べ観客人数も8289人に達している。ここ2・3年は社会福祉協議会を通しての要請が約70%を占めている。最近はインターネットや、くちこみによる派遣要請もあり、また、遠くは福島県(会津)など県外からの依頼がある。派遣先の中心は、老人クラブ、福祉施設、お茶の間サロンなどである。なお、特殊なところでは、還暦の祝いや銀行の納涼祭、JA助け合い組織交流集会のイベントなどからも依頼を受けた。

2、派遣事業の苦労談や喜び

派遣芸人登録者は現在20名おりますが、実際に活動している芸人は10名不足らず、その中には普段仕事を持っている人も多く、特に平日などの派遣要請にはローテーションなどで苦労しています。他には、演目希望に応えられないことや、大きな体育館などで音響設備などに苦労します。また、事前の下見や派遣先の担当者との打ち合わせなどに時間をとられることもあります。

しかし、そんな苦労はあっても、お客様に大いに笑っていただいた時や、掛け声などを掛けられて開場と一体感の中で演技ができる時の喜びは、素人芸人冥利につきます。

また派遣先の担当者や、派遣先の自治会長さんなどの配慮が行き届いていると、こちらの芸人たちが演技しやすく、また、日頃の力以上の演技ができる喜びもあります。

派遣事業の今後については、まず、芸人の発掘と拡充に力を入れなければなりません。現在、芸人たちで作っています「お笑い同好会」の協力が必要ですし、まだ新潟県下に埋もれている才能ある芸人の発掘やネットワークによる交流も考えていかなければなりません。それによって、さらに増えていくであろう派遣要請に応えていかなければなりません。

そして、お笑い事業団のPR活動、老人を元気にする社会福祉協議会を通じて、行政への働き掛けに力を注いでいく必要があります。

これらの方向性を確かめ合いながら、原点である「新潟から、笑いで元気を」をモットーに、先の見えにくい21世紀を、私たちの笑いの力で乗り切っていこうと考えています。皆さんのお力添えもお願いいたします。

「笑い」は新潟を救う。

派遣先からの反響 …派遣先からは、こんな嬉しい声が届けられています。

笑いの少ない現代社会において正月早々、腹の底から笑う事が出来て皆さん満足しておりました。これからも笑いを取り入れた内容で会を盛り上げたいものです。

(下土地亀老人クラブ 佐藤英一)

当日は、葛巻地区のお年寄りをはじめとする参加者の皆様方から楽しんでいただくことができ、また、盛会のうちに終了することができました。これもひとえに、出演者の皆様方のお力添えのおかげと、深く感謝申し上げます。

(見附市葛巻地区まちづくり協議会 会長 佐野登美雄)

団員3名の方、それぞれの個性、特技を生かされての演芸、すばらしかったです。お年寄りの皆さんもあまり聴くことのない「昔語り」、めったに観ることのない「マジック」、ひょうきんな「岸壁の母」に感心したり笑いが止まらなかったり…本当に楽しいひと時を過ごされたと思います。(村上市社会福祉協議会 会長 横山素雄)



先日、NPO法人「お笑い事業団」の方々にお越し、笑いの健康講座を開催した。福島県会津美里町高田地域の公民館5館の共催事業で、高齢者の方々を中心に笑いをもって、いきいき長生き健康を考えていただく講座であった。

新潟とは高速で90分位の距離にある地域だが、方言などの話もあるのでいかなものかと考えもあったが、この地は新潟とのつながりも多々ある所で、参加した人々は方言も理解できた。(解説をして頂いた所もあった)

健康で長生きを大切に考え、また今日のように外に出て皆と顔を合わせ、引きこもりにならずつながりを大事にと、参加した方々、事業団の方々と共に皆で考えられる時間でした。今後とも笑いで健康に長生きし、参加することで家庭のつながり、近所とのつながり、地域とのつながりを考える活動を期待いたします。

(福島県会津美里町 藤川地区公民館 館長 日吉恒彦)

日々、色々な講座を企画する立場にあり、何をしたら良いか思案中の折、インターネットで、貴団体を知り興味を持ちました。そして、「楽しく長生き教室」のテーマにぴったりだと思いました。思っていた以上に楽しく、参加した皆さんにも好評でした。お蔭様で、参加者の方から「今日は楽しかったよ」という声を聞くことができました。笑うことは大切だと思いました。ありがとうございました。

(福島県会津美里町 旭地区公民館 生涯学習指導員 三星ゆうこ)

こんなプロまがいのお笑い芸人たち…お笑い使節団

～ 芸人・講師 紹介のページ ～

<p>芸名 イキイキ正ちゃん (本名：鈴木正平)</p> <p>得意芸 創作ダンス、「岸壁の母」は絶品。</p> <p>講演 「老いと笑いと人生」 ※ 派遣事業のリーダー役</p>	
<p>講師 今井 誠 (弁護士)</p> <p>講演 「お笑い法律相談」「お笑い裁判」 NPO法人お笑い事業団ニイガタ理事長</p>	
<p>芸名 パペット岩島 (本名：岩島洵子)</p> <p>得意芸 腹話術、実力は全国でもトップクラス 全国あすなろ腹話術協会新潟第2支部長</p>	
<p>芸名 袖山由美子</p> <p>得意芸 皿踊りとトークの合体芸 全国笑リンピック銀メダル受賞</p>	
<p>芸名 オール・デイ (清水勝と若井浩)</p> <p>得意芸 ギター漫才、講演「音楽への誘い」 ギター・たて笛の演奏、時事問題も含め楽しいコンビ</p>	
<p>芸名 柳都亭笑楽 (本名：清水勝)</p> <p>得意芸 小噺・落語 講演「笑いの今昔」「短詩定型文学」 笑顔絶やさず、歯切れのよい話術</p>	
<p>芸名 つまようじ (本名：大桃洋一・大桃信子)</p> <p>得意芸 夫婦漫才 新潟で唯一(?)の夫婦漫才、漫才界の朱鷺、絶滅の恐れあり? 皆様の温かい笑いで保護してやってください。</p>	
<p>講師 笹川 力 (認定産業医)</p> <p>講演 「笑いと医学」「笑いと健康」 元新潟市民病院長、瑞宝中綬章受章</p>	
<p>芸名 飯田恵輔</p> <p>得意芸 マジック&トーク、毒舌交通安全教室、つづり方話芸 笑いは人を幸せにする。そのおすそわけをしたい</p>	

WARAI saves Niigata

「笑い」は新潟を救う。

<p>講師 横山芳郎（江戸文物研究家・内科医） 講演 「江戸文学について」「笑い与健康」 人間、金や名誉があっても墓場までは持っていきません</p>	
<p>芸名 太腹笑子（本名：笠原悦子） 得意芸 昔語り、講演「民話、方言について」 姉さんかぶりで、さわやかな口調、ときには艶話も</p>	
<p>芸名 高木節男（本名：石栗三男） 得意芸 正調「どじょうすくい」 安来節ならぬ高木節、思わず噴き出す踊りと愛嬌ある表情</p>	
<p>芸名 ポリス田村（本名：田村敏雄） 得意芸 コント&マジック、「お笑いパトロール」 コントとマジックで、あなたを不思議な世界にお誘い</p>	
<p>芸名 白鳥くん（本名：白鳥裕明） 得意芸 お笑い-MC、コント、講演「不思議な話」 期待の新星！ あの世に行った経験の持ち主</p>	
<p>芸名 近衛十三郎（本名：佐藤 肇） 得意芸 居合切り、ガマの油売り、俵切り（越後秀郷流抜刀術） 刀をお笑いに活かしたユニークな芸</p>	
<p>芸名 若さん（本名：若桑利男） 得意芸 お笑いマジック、講演「マジック指導」 幼稚園・小学校から老人クラブまで幅広い人たちにうける</p>	
<p>芸名 寅さん（本名：佐藤 巽） 得意芸 寅さんマジック 手品の世界で寅さんを表現する。寅さんの世界で癒されます</p>	
<p>芸名 モンキキ（本名：久保門一） 得意芸 漫談の連発 お笑いで健康を！ “笑い話は面白いのがうまい”</p>	

～ 笑いを科学する ～

少々理窟っぽくなりますが、笑いは、どんな意味があるのだろうか。どうして起こるのだろうか。健康にいいって本当だろうか。どんな笑いがあるのだろうか、などなど、ちょっと考えてみませんか。その道の専門家の皆さんのお話を拾ってみました。

1、「日本笑い学会」立ち上げ、設立宣言

井上宏「日本笑い学会」前会長

「笑いの世紀を目指して」から <「笑いの世紀」日本笑い学会>
「もしこの世に笑いがなかったとしたら、とっくの昔に人類は滅亡していたのではないのでしょうか。笑いは、人間の誰でもが持っている自然の能力であり、極めて日常的な営みの一つであるにもかかわらず、これまでの日本文化の中では、笑いを正当に評価してこなかったのではないかと思います。どちらかと言えば、笑いよりも、真面目、厳粛な傾向を奨励してきました。それは何故だったのかということも研究のテーマになりますが、学会では、人間の自然力としての笑いを正当に評価したいと願っています。（中略）

人間の自然力としての笑いの能力を見直すことがいかに大切なことであり、また笑いの芸能文化が人間と社会にとってどれだけ貴重なものであるかということをアピールしていきたいと思っています。」

2、笑い与健康

伊藤美喜院長（福岡市 伊藤医院）

「笑い効用9ヶ条」 <「笑って健康大作戦」の講演から>

- ① 脳内ホルモン分泌で痛みなど緩和
- ② 内臓の消化機能が向上
- ③ 横隔膜腹筋などを強め、便秘を予防
- ④ NK細胞が増えて、免疫力が向上
- ⑤ 血液がサラサラして、生活習慣病を予防
- ⑥ アルファー波が増え、全身が癒される
- ⑦ 若返りホルモンの分泌を促進
- ⑧ 頭がすっきりし、忍耐力とやる気がでる
- ⑨ 自分が笑うと、相手も笑顔に

3、笑いの12のテクニック

井山弘幸（新潟大学教授）

「笑いの現在」 <お笑い市民大学の講演資料から>

笑いのテクニックとして、次の12を挙げている。

- ① 反復（同じ動作や言葉の繰り返し）
- ② 宙吊り（これから何が起こるか、固唾を吞んで待ち構える）
- ③ 取り違え（同じ所作や言葉に対し、極端に異なる二種の解釈が
生み出される）
- ④ ずれ下がり（笑いは優越の感情から生まれる）
- ⑤ 超現実（現実にはありえないこと）
- ⑥ ブラック（上司や同僚をこき下ろす、人の不幸を笑う）
- ⑦ 模倣（物真似、本物のもっとも特徴的な面を誇張して演じる）
- ⑧ 現実批判（現実なのに絶妙な突っ込みで笑う、「あるあるネタ」）
- ⑨ 針小棒大（物事を大げさに言う）
- ⑩ 類音異義（駄洒落など）
- ⑪ 逸脱（落語で粗忽者の言動、ボケの一つで世の中にある矛盾、常識
的逸脱）
- ⑫ ナンセンス（「意味のないこと」を用いた笑いの手段）

4、笑いの分類

羽鳥徹哉（成蹊大学名誉教授）

「笑いの本質・分類・意義」 <「笑いと創造」第1集から一勉誠出版>

笑いは大きくは次の三つに分けられると述べている。

I、自然発生的笑い（受動的笑い）

これは更に①滑稽 ②安堵・幸福の笑い・愛情の笑い ③苦しい笑い、
に分けられる。

II、創造的笑い（能動的笑い、機知・エスプリ）

これも更に、①遊戯的笑い ②批判的・暴露的笑い（自嘲・嘲笑・風
刺） ③道化・追従笑い・お世辞笑い、に分けられる。

III、否定を肯定に向け変える笑い（受動・能動的笑い、ユーモア）

自然発生的には滑稽（軽蔑・否定の笑い）に繋がるようなものを、意
識的に肯定の方向に向け変えることによって生じるユーモアとしての
笑い。本来笑われてしかるべき否定的存在、様態、状況を、それでい
いと肯定し、認めていこうとするとところから生じる笑い。

まぼろしのプログラム

*地震で流れた「越後笑劇場・秋の陣」

私が3年前に「NPO・お笑い事業団ニイガタ」を立ち上げてから最も力を注いできたのは、春先の「越後笑劇場・春の陣」と秋口の「越後笑劇場・秋の陣」の2大イベントでした。「越後笑劇場・春の陣」は、お笑い事業団に「お笑い芸人」「お笑い講師」の登録をしている「素人芸人」（大半がお笑いクラブの会員）の自作・自演・発表の場として、「越後笑劇場・秋の陣」は、お笑い業界で活躍中の「プロの芸人」の玄人芸に接する場として、いずれもお笑い事業団主催の恒例行事として企画・実施してきたものです。平成16年10月24日（日）に計画していた「越後笑劇場・秋の陣」では、漫才の内海桂子師匠（漫才協団会長）と落語の桂歌丸師匠（落語芸術協会会長）、両師匠の有力な門下生でもある漫才の新山ひでや・やすこ、漫才の笑組（えぐみ）、落語の桂花丸の豪華メンバー、それに地元の若手芸人を加えて「明日の開場を待つだけ」という準備万端の体制で前日の夕方を迎えておりました。

お笑い事業団の主催行事としては、入場料4500円（会員4000円）をいただく初めての「大型興業」であり、芸人との出演交渉、チケットの販売、広告・宣伝、プログラムの作成、開場の設営、当日の進行、終了後の「芸人との交流」など全て会員（素人）の手づくりで、前日の夕方までスタッフが汗を流して準備にあたっていたものです。会場の新潟ユニゾンプラザ（約500席）での最終準備が終わったのは、夕方の5時45分頃でした。会場での最後の作業は、「越後笑劇場・秋の陣」と書いた大看板を取り付け、寄席の舞台に不可欠な「金屏風」（会場近くの私の顧問先の結婚式場から借りてきてもの）を舞台上に配置することでした。一見して高価そうに見えた「金屏風」だったことから、当日の舞台照明を担当する施設の係りの人に「地震が来ても大丈夫でしょうか？」と質問したところ、「大丈夫です、その時は安全なように倒しておきますから．．．」との返答でした。

川口町を震源地とする震度7の大地震が発生したのは、私たちが会場の新潟ユニゾンプラザを出て間も無い5時56分のことでした。最初の大きな揺れは、車の運転中で特に気がつきませんでした。2回目と3回目は家の中で「震度4」を肌で感じました。それから間もなく中越地方に大きな被害が発生していること、新幹線が脱線して動かなくなっていること、高速道路をはじめ道路が通行できなくなっていることが、テレビで伝えられました。

「さて、困った」「明日のイベントはどうなるか」「決めるのは自分しかいない」「とりあえず、内海事務所に連絡をいれて行き違いのないようにしないといけない」「それと万一の中止に備えて、スタッフに待機してもらう必要がある」などとあれこれ思案を巡らし、その日の内に「最終決定を明日の朝午前7時に自分がする」「決定次第関係者にすぐ連絡をいれる」「主な関係者には連絡がいくまで行動するのを待ってもらう」ことにしました。そして、当日の午前7時、私は「越後笑劇場・秋の陣」の中止を決定し、関係者にその旨を連絡すると共に、チケットの販売先に可能な限り連絡するようスタッフに指示しました。

当日、連絡がつかずに会場に足を運ばれたチケット購入者がおり、中止を知らずに遠くから当日券を求めてきたお客もおりましたが、さほど混乱なくその日はおさまりました。

当日会場に来ていただいた方には、チケットの払い戻しをし、日の目を見ないで処分されることになった「幻のプログラム」を記念にお持ち帰りいただきました。（別添の「越後笑劇場・秋の陣・いざ！出陣！」がそのときのプログラムです。1000部印刷）

その後、その後始末にほぼ1ヶ月を費やしました。約500枚のチケットを役員やスタッフで手分けして販売していましたが、購入者の氏名や連絡先の分からない者がかなりあり、それらの精算に手間取ったためです。それでも、多くのチケット購入者から「代金を寄付」していただいたため、赤字を出さずに後始末を終えることができました。

私にとっては、全く予期しない出来事でしたのでその後しばらくは「地震の被災者」のような状態でした。約3ヶ月間、仕事を犠牲にして準備してきた「一大イベント」ただだけに、すっかり気落ちしてしまいました。もともと、自分の生きがいのためにはじめたNPO活動でありお笑い事業だったのですが、このような予期しない結果（お借りした「金屏風」は幸い無事でした）に出会うと「事業を継続する気力」すら失ってしまいます。

*被災地への熱いメッセージ

私がNPO・お笑い事業団ニイガタを立ち上げた最も大きな動機は、時代の転換期にあって「切なく」「暗く」「渾沌」とした世情に「笑い」と「笑顔」でエールを送り、少しでも世情を転換するのに役立ちたいと考えたからでした。それは、体力と気力と時間に僅かでも余裕のある市民一人一人が、様々な原因で落ち込んでいる人々に対し「元気な笑い声」を届け、「笑顔でエール」を送る、ただそれだけで十分意義のあることと考えたからでした。

私が、昨年10月24日のお笑いイベントに30名の障害者を招待し、その前々日に上越市のリージョンプラザで開催された県障害者福祉大会の講師を引き受けたのも、笑いでエールを送りたいと考えたからです。震災前日の障害者の福祉大会で、私は「お笑い弁護士の挑戦—NPOお笑い事業団ニイガタのめざすもの」という演題で話をさせていただきました。約500名の参加者（身障者）にどれだけの「エール」が送れたものか、自分では測りかねているものの「自分の失敗談」を中心に精一杯の「エール」を送ったつもりです。そして、私の能力や技能では補いきれない部分をNPO・お笑い事業団が主催する「越後笑劇場・秋の陣」でカバーするつもりでしたが、それは「新潟大震災」で吹っ飛んでしまいました。「笑い話」としてもあまりにも「皮肉な結果」に「苦笑」しています。

そこで、NPO・お笑い事業団として考え出したのが、新潟市（古町と本町）と中越の被災地での「ワッハッハ・・・笑いでエール！がんばれ被災地！」のお笑いメッセージの交換なのです。

昨年11月28日（日）午後、NPO・お笑い事業団のメンバー20人（私がチャップリン姿、全員が仮装）で新潟市の古町と本町を賑々しく行進しました。そこで被災地への支援を呼びかけ、義援金を集めました。そして、12月26日（日）には、NPO・お笑い事業団のメンバー多数で中越の被災地に出かけ、被災地の皆さんと「幸せを呼ぶ黄色い風船」を空高くあげるなどして、持てる限りの「笑い」と「笑顔」と「笑い芸」を届けてきました。

お笑い事業団のこうした活動の一端が、本年1月25日（火）23時15分～23時45分のNHK総合テレビの「ものしり一夜づけ」（三宅裕司、南野陽子の司会する番組）の「笑いの科学」で取り上げられることになっていますので、ご覧になって下さい。

なお、興味のある方は、NPO・お笑い事業団ニイガタのホームページも覗いてみて下さい。私の「お笑い弁護士への挑戦」は、私自身の体力と気力が相当に減退してきているのでいつまで続くかわかりませんが、もし、あと3年続いたら「本物のお笑い弁護士」になっているかもしれません。「幻となったプログラム」がこの先のいつ日の目を見るか分かりませんが、期待して待っていて下さい！（理事長 今井誠 平成17年記）

派遣事業の実績

H18-H19年度

日付	会場
H19. 1. 25	ハイブ長岡
H19. 1. 27	万代シルバーホテル
H19. 1. 28	佐和田の八幡館
H19. 2. 18	ジャスコ新潟店
H19. 2. 20	豊栄 長岡屋
H19. 2. 24	水原保健センター
H19. 2. 25	朝日村 猿沢公民館
H19. 4. 26	新潟ユニゾンプラザ
H19. 4. 27	ホテル新潟
H19. 4. 28	吉田保健センター
H19. 4. 29	刈羽村 ひだまりの里
H19. 5. 11	新飯田公民館
H19. 5. 13	村上市 肴町公会堂
H19. 5. 14	小千谷 白寿荘
H19. 5. 20	魚沼市 野山の里
H19. 5. 29	湯田上 ホテル小柳
H19. 5. 30	片貝集合センター
H19. 5. 30	ホテル日航新潟
H19. 5. 30	JAおぢや片貝中央支店
H19. 5. 31	
H19. 6. 2	銭心亭おつ乃
H19. 6. 8	小須戸公民館
H19. 7. 12	新潟テルサ
H19. 10. 11	朱鷺メッセ
H19. 10. 14	新潟市立大形小学校
H19. 10. 21	浦木公民館
H19. 11. 2	ハミングバードVIP
H19. 11. 4	白新コミュニティハウス
H19. 11. 9	江南区船戸山
H19. 11. 21	さわやかセンター
H19. 12. 19	ほっと中条
H20. 1. 12	五十嵐2の町自治会館
H20. 1. 12	東区江南2-2-9
H20. 1. 14	県立植物園
H20. 1. 17	内野 松のや
H20. 1. 20	大瀬柳公民館
H20. 1. 23	下土地亀ふれあいセンター
H20. 1. 23	イタリア軒
H20. 1. 27	県立植物園
H20. 2. 15	小須戸公民館
H20. 2. 18	内野 一富士
H20. 2. 23	近江 岡田
H20. 2. 23	小千谷市 大竹会館
H20. 3. 7	鳥屋野地区公民館
H20. 3. 19	豊栄さわやかセンター

H20年度

日付	会場
H20. 4. 24	月岡 ほうずきの里
H20. 4. 26	下大谷内公民館
H20. 5. 6	中央区幸西
H20. 5. 16	新潟グランドホテル
H20. 5. 20	ケアセンターそよ風
H20. 6. 6	鳥屋野地区公民館
H20. 6. 12	濁川連絡所
H20. 7. 1	ロイヤル胎内パークホテル
H20. 7. 3	ロイヤル胎内パークホテル
H20. 7. 5	新潟国際情報大学
H20. 7. 29	大観荘せなみの湯
H20. 8. 20	新潟市近江 まちの駅
H20. 8. 23	すみれ野公園
H20. 8. 30	小千谷市岩沢
H20. 9. 9	すみれ野
H20. 9. 15	笠柳公民館
H20. 9. 15	早通南4丁目集会所
H20. 9. 20	早通北自治会館
H20. 9. 21	朱鷺メッセ ボラフェス
H20. 9. 25	森下公民館
H20. 9. 27	ホテル瀬波観光
H20. 9. 28	高森新田公民館
H20. 9. 29	ほっとHOT中条
H20. 9. 30	松影公民館
H20. 10. 5	寺尾上2第一自治会館
H20. 10. 21	北区大久保
H20. 10. 22	燕商工会議所
H20. 10. 26	下大谷地公民館
H20. 10. 26	濁川連絡所
H20. 11. 5	小千谷サンラックおぢや
H20. 11. 6	ホテルイタリア軒
H20. 11. 8	月湯健康センター
H20. 11. 8	豊栄さわやかセンター
H20. 11. 19	下黒山公民館
H20. 12. 5	笠柳公民館
H20. 12. 5	早通コミュニティ
H20. 12. 6	有明福祉会館
H20. 12. 17	内野 稲荷神社
H20. 12. 19	北区川西2
H20. 12. 19	ホテル新潟
H20. 12. 20	グループホームおおやちの家
H20. 12. 24	西区山田
H20. 12. 25	オーシャンブルー五ヶ浜
H21. 1. 22	下土地亀公民館
H21. 1. 28	イタリア軒
H21. 2. 5	割烹みさわ
H21. 2. 11	新潟会館
H21. 2. 15	東急イン
H21. 2. 20	ツクイ寺地デイサービスセンター
H21. 2. 26	つくし野自治会館
H21. 3. 2	長岡屋旅館
H21. 3. 12	寄居コミュニティハウス
H21. 3. 17	南区保健センター
H21. 3. 19	新潟東映ホテル
H21. 3. 25	つくし野自治会館
H21. 3. 31	北区さわやかセンター



H21年度

日付	会場
H21.4.14	割烹の宿 湖畔
H21.4.22	なじみの家「きなせや山の下」
H21.4.26	東区自治会館
H21.5.6	新潟会館
H21.5.14	松浜入船会館
H21.5.16	ツクイ寺地デイサービス
H21.5.21	なじみの家「きなせや山の下」
H21.5.28	東地区公民館
H21.6.11	東北電力ビル
H21.6.18	なじみの家「きなせや山の下」
H21.6.20	巻地区公民館
H21.6.26	寄居中学校
H21.7.9	万代市民会館
H21.7.9	ANAホテル新潟
H21.7.19	なじみの家「きなせや山の下」
H21.7.24	白新町公民館
H21.8.6	北区太夫浜集落開発センター
H21.8.17	なじみの家「きなせや山の下」
H21.8.20	下土地亀ふれあいセンター
H21.8.21	村上市教育情報センター
H21.8.27	なじみの家「きなせや山の下」
H21.8.27	おぐに森林公園「養楽館」
H21.8.29	長浦コミュニティセンター
H21.9.4	おぐに森林公園「養楽館」
H21.9.5	三軒屋社会福祉事業会館
H21.9.9	新潟市倫理法人会
H21.9.20	おぐに森林公園「養楽館」
H21.9.21	笠柳公民館
H21.9.26	おぐに森林公園「養楽館」
H21.9.27	上土地亀公民館
H21.9.29	北区十二205
H21.10.4	新潟市エコプラザ
H21.10.8	おぐに森林公園「養楽館」
H21.10.11	見附市文化ホール
H21.10.17	ツクイ寺地デイサービス
H21.10.18	おぐに森林公園「養楽館」
H21.10.18	ツクイ寺地デイサービス
H21.10.23	亀田市民会館
H21.10.24	おぐに森林公園「養楽館」
H21.10.25	下大谷内公民館
H21.10.26	松陰
H21.10.31	おぐに森林公園「養楽館」
H21.11.4	なじみの家「きなせや山の下」
H21.11.5	ほうずきの里
H21.11.10	岡方コミュニティ
H21.11.13	新潟市万代市民会館
H21.11.17	ツクイ寺地デイサービス
H21.11.27	豊栄南小学校
H21.11.27	神林農村環境改善センター
H21.12.16	ツクイ寺地デイサービス
H21.12.17	デイサービスセンター味方
H21.12.23	なじみの家「きなせや山の下」
H21.12.23	グループホーム「おおやちの家」
H21.12.25	悠KUROSAKI
H22.1.12	スワンの里
H22.1.21	なじみの家「きなせや山の下」
H22.1.26	新潟市民プラザ
H22.1.26	下土地亀ふれあいセンター
H22.1.29	万代シルバーホテル
H22.1.30	中常楼
H22.1.31	新崎濁川連絡所
H22.2.15	ツクイ寺地デイサービス
H22.2.23	有明荘
H22.3.2	プライダルスステージDUO
H22.3.8	鳥屋野地区公民館
H22.3.14	濁川連絡所

H22年度

日付	会場
H22.4.8	三条市リサーチコア
H22.4.17	ツクイ寺地デイサービス
H22.4.18	なじみの家「きなせや山の下」
H22.5.7	新飯田地域生活センター
H22.5.10	なじみの家「きなせや山の下」
H22.5.17	ツクイ寺地デイサービス
H22.5.20	東地区公民館
H22.5.21	なじみの家「きなせや山の下」
H22.6.8	ツクイ寺地デイサービス
H22.6.8	有明荘 作業棟
H22.6.15	村松さくらんど温泉
H22.6.16	入船自治会館
H22.6.21	なじみの家「きなせや山の下」
H22.6.24	NOCプラザ
H22.6.28	旭地区公民館
H22.7.9	ホテル新潟
H22.7.20	なじみの家「きなせや山の下」
H22.7.24	ツクイ寺地デイサービス
H22.7.27	木崎コミュニティホール
H22.8.17	ツクイ寺地デイサービス
H22.8.25	リズムハウス飄湖
H22.9.7	なじみの家「きなせや荻川」
H22.9.8	北区内島見公民館
H22.9.12	本馬越集会所
H22.9.13	なじみの家「きなせや亀田」
H22.9.19	村上市岩船高砂屋
H22.9.20	北区松浜自治会館
H22.9.27	なじみの家「きなせや山の下」
H22.10.9	三条総合病院
H22.10.18	鳥屋集落開発センター
H22.10.24	下大谷内公民館
H22.10.27	ホテル イタリア軒
H22.10.31	村松さくらんど温泉

2010年10月 作成



お笑い事業団ニイガタ の歩み (歴史)

年度	月	歴史と活動内容	補足説明
平成13 (2001)	2	「お笑いクラブNiigata」設立準備会	呼びかけ人: 今井誠
	6	設立総会(三業会館)	記念イベント開催
	8	お笑いクラブ通信創刊号発行	
	8	「新潟民謡流し」に参加	仮装して参加
	8	「NPOお笑い事業団ニイガタ」設立総会	記念イベント開催
	9	新潟県主催「ポラフェス2001エイエイFOR～」に参加	
	9	NPOの認定申請	
	10	ホームページ「お笑いクラブNIIGATAおん・ざ・ねっと」開設	
	10	「女性フォーラムinにいがた」に参加	お笑いクラブniigata、ワークショップ 「お笑い法律相談」開設
	12	NPOの認証を得る	
	1	法人登記完了、「お笑い事業団ニイガタ」誕生!	正式に、NPO特定営利活動法人となる
	1	「お笑いセミナー」スタート 第1・2回講師: NAMARA代表・江口歩 第3回講師: 新潟大学教授・井山弘幸	
2	「お笑い事業団」記者会見 第1回・・・福豆まき 第2回・・・「越後笑劇場・お笑い交流小学校」	理事が仮装で総出演 於) 万代シティ 於) 万代市民会館	
平成14 (2002)	5	「国際お笑いフェスティバル」開催 ワールドサッカー新潟開催イベント	(於) 新潟ユニゾンプラザ
	6	「ウエルカムパレードinNIIGATA」に参加	同上イベント(友好賞受賞)
	7	「お笑いクラブハウス」(仮称)誕生	NAMARA事務所から、 新潟市上大川前通に移転
	1	「お笑い基金」制度を設置	
	2	第2回「越後笑劇場」(「メイク・スマイルコンテスト」)開催 第2回、笑いの福豆まき	於) 新潟市民プラザ 於) 万代シティ
平成15 (2003)	5	お笑いクラブハウスお披露目パーティ	
	8	お笑い芸人・お笑い講師、派遣事業開始	8月で15カ所に派遣
	8	「新潟民謡流し」コンテストに参加	特別賞受賞
	10	第1回「お笑いチャリティゴルフコンペ」開催	
	11	第4回「越後笑劇場」(「お笑い学園駅前分校」)開催	於) 駅前ガレツソホール
	1	新春お笑いライブ 第3回笑いの福豆まき 第5回「越後笑劇場・春の陣」開催	於) ふるさと村アピール館 於) 万代シティ 於) 駅前ガレツソホール
平成16 (2004)	5	設立3周年記念講演会 講師・日本笑い学会会長・井上宏	於) 駅前ガレツソホール
	9	日本笑い学会新潟支部設立 記念イベント: チャプリン&チャプリーナ出演	於) 駅前ガレツソホール
	9	第2回「お笑いチャリティゴルフコンペ」開催	於) 津川カントリークラブ
	10	第6回「越後笑劇場・秋の陣」開催計画 内海桂子・桂歌丸ほか出演	於) 新潟ユニゾンプラザ ※中越地震の為急きょ公演中止
	11	「わっはっは! 笑いでエール! 被災地がんばれ」	古町でチンドン隊、チャリティ募金行進
	11	お笑い忘年会	於) VIPハミングプラザ
	12	小千谷市へ被災地応援	キャラバン隊派遣、公演会開催
	1	NHKで、お笑いキャラバン隊が全国放映される	NHK総合「ものしり一夜漬け」の番組
	1	笑い学会新潟支部講演会 新春福豆まき	
	3	理事合宿(今後の活動検討)	古町、万代シティ 於) 嵐溪荘
	3	全国笑リンピックに出場、銀メダル受賞	袖山専務理事
	3	お笑いクラブハウス閉鎖、事務所正式引越し	上大川前から古町4へ
	3	クロスパルのオープン祝賀行事にチンドン隊協力 「お笑い届け隊」養成講座開設	
		於) クロスパル	

年度	月	歴史と活動内容	補足説明
平成17 (2005)	5	総会、記念講演:博多笑い塾・伊藤理事長	於)万代市民会館
	7	日本笑い学会研究発表会で、今井理事長特別報告	
	12	第7回「越後笑劇場・冬の陣」開催	地震被災地の方々を招待
		内海桂子・ピーターフランクル・林家たい平ほか出演	於)新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ
平成18 (2006)	4	総会・交流会	
		活動の重点を芸人・講師派遣に転換を決める	
	9	テレビ取材NST「新潟調査隊」9/26放送	
	10	お笑い芸人発表会	
	2	派遣芸人養成のため、「お笑い教室」開始	
平成19 (2007)	4	4月～9月ふるさとお笑い教室開校	
		講師:藤井一男・校長:椿利策	
	11	エンジン01「オープンカレッジin新潟」参加	
	11	ふるさとお笑い教室卒業記念公演	
平成20 (2008)	8	「全国ボランティアフェスティバル新潟」参加	
	9	第8回「越後笑劇場」開催	於)ふるさと村アピール館
	11	「お笑い教室」発表会2008	於)ふるさと村アピール館
平成21 (2009)	5	総会、お笑い市民大学	於)万代市民会館
		講師:羽鳥徹哉「近代の日本と笑い—文学を通して—」	
	6	「お笑い教室」発表会2009	於)ふるさと村アピール館
	11	第9回「越後笑劇場」	於)ふるさと村アピール館
平成22 (2010)	4	総会、お笑い市民大学・講師:井山弘幸「笑いの現在」	於)ハミングプラザニイガタ
	5	苗場合宿(10周年事業検討)	
	6	「お笑い教室」発表会2010	於)ふるさと村アピール館
	11	創立10周年記念事業開催、第10回「越後笑劇場」	於)天寿園
		第1部:記念講演・伊藤一輔「笑い与健康のステキな関係」	
		第2部:「越後笑劇場」	
		第3部:記念公演・米谷裕夫「笑劇的健幸漫談」	
		第4部:交流会	

2010年10月 作成

特定非営利活動法人 お笑い事業団ニイガタ【概要】

1. 目的 この法人は、世界各国、古今東西、老若男女、各界各層に共通する『お笑い』の文化と技能を広く探求し、市民の生活の隅々に『お笑い』を広く浸透させ、『お笑い』を通して世代間交流を図り、もって、学校、職場、地域の活性化と福祉、文化の向上に寄与することを目的とする。

子どもにも大人にも、随分しんどい世の中になったということ、家庭や学校など至るところで崩壊が起き、個人が生きる自身を失っている最近の暗い世相を、どうしたら明るく活気のあるものに変えられるかと考えた結果、誕生したのがNPO法人お笑い事業団ニイガタなのです。NPO法人お笑い事業団ニイガタは「笑い」を広め、世の中を明るくする団体です。

・芸人派遣はボランティアで行っており、イベントも基本入場無料で行っています。

2. 事業方針 老若男女、各層に共通する『お笑い』を浸透させ、これらを通じて世代間交流を図り、学校・職場・地域の活性化と福祉・文化向上に寄与し、県下各地のお笑いを広める活動を積極的に推進する。

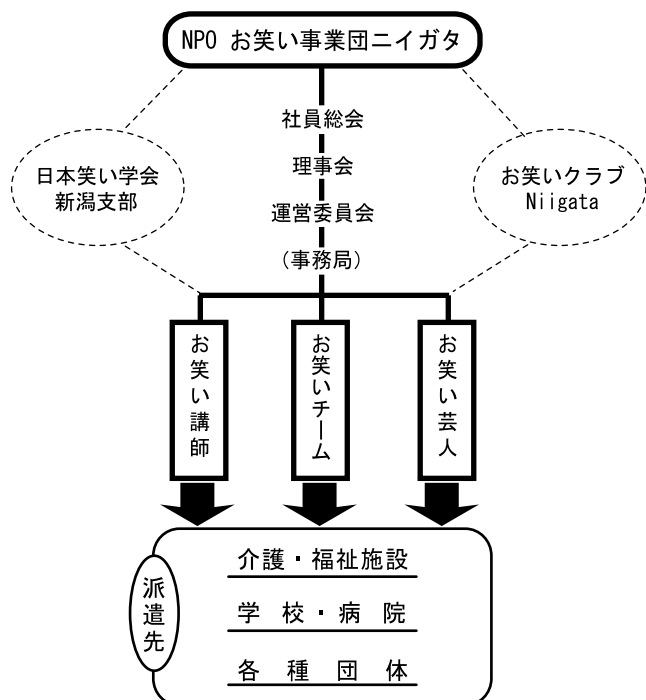
- ① 高齢者施設、学校などへの「お笑い芸人」「お笑い講師」派遣事業の定着
- ② 「お笑い芸人」「お笑い講師」の養成事業の継続
- ③ 『笑い』ネットワークの構築を目指す、「日本笑い学会新潟支部」「お笑いクラブNiigata」への積極的な関与
- ④ 『越後笑劇場』『お笑いコンテスト』『被災地支援イベント』等の開催
- ⑤ 交流事業として08全国ボランティアフェスティバル新潟や07エンジン01イベント等に参加

役員

2010年度

理事長	今井 誠	
理事長代行	鈴木正平	
理事	石井タキ	猪羽幸市
	喜多村園子	小林一三
	笹川 力	清水 勝
	高橋玲司	
監事	今井慶貴	野島廣一郎

組織図



現在の会員数

2010年10月

正会員	59名
法人会員	6社

お笑い事業団ニイガタ10周年記念誌へのご協賛各社

あなたの笑顔を第一に
個人から企業・団体まで納得と安心の
総合法律事務所



弁護士法人

新潟第一法律事務所

Niigata Daiichi Law Office

新潟・燕三条・長岡・新発田

初回予約のみこちらへおかけください

いこうじむしょ

0120-15-4640

相談料 30分5,000円

新潟第一 弁護士

検索

時間外相談の
ご案内

新潟事務所では、月曜～金曜の夕方と土曜日 午前9時
から午後5時までの間、弁護士の面談による法律相談を
お受けしております。(受付時間:午前9時～午後5時)

無料相談の
ご案内

遺言・相談・交通事故・多重債務の初回相談は無料
です。(ただし、初回・30分までに限ります)

皆様のビジネス・生活を
法的側面からサポートします

にいがた士業ネットコモンズ

COMMONS

株式会社 **コモンズ**

新潟市中央区新光町10番地2
技術士センタービル603号

TEL 025-280-1551

<http://www.commonslaw.com>



あなたの為の家!実現!!

高品質・高耐久・新木造住宅

住宅性能保証制度登録業者

有限
会社 **丸石建設**

代表取締役 石栗 三男

新潟県村上市新町2番3号
事務所 ☎ 0254-53-3118

愛し愛されること
創めること
耐えること

「新老人の会」の3つのモットー

「新老人の会」
会長 日野原 重明



「新老人の会」新潟支部

世話人代表 笹川 力

950-1187 新潟市西区北場1185-3
(社)新潟県労働衛生医学協会 教育研修部 内
TEL 025-379-1020 FAX 025-370-1788

お笑い事業団ニイガタ10周年記念誌へのご協賛各社

野島税理士事務所

税理士 野島 廣一郎

税理士 杉山 佳子

新潟県三条市東裏館2丁目4番18号

TEL 0256-32-0444



ハミングプラザVIP新潟

 Humming Plaza VIP
niigata

TEL 025-285-1143

感謝を伝える
ウエディング。

大切なゲストと過ごす、心あたたまる一日を。



VIPシティホール県庁前

葬儀とは、
人を想うこと。

「さよなら」より「ありがとう」が伝わるご葬儀を。

VIPの変わらない葬儀への特別な想いです。



VIPシティホール

24時間 三条 長 倉
☎0120-24-4999

VIP GROUP

<http://www.vip-group.co.jp>

株式会社シアンズ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)


営業力のあるホームページを
ご提案いたします！
企画提案・デザイン・設計などお気軽にご相談ください！

実績

弁護士法人新潟第一法律事務所様

連絡先

 **株式会社シアンズ**
〒950-0088
新潟市中央区万代 2-3-16 リバービュー SDビル10F
TEL: 025-246-4666 MAIL: info@siance.co.jp
<http://www.siance.co.jp> 担当: マルチメディア課

はたらく人の、
生活応援バンク 

営利を
目的としない
金融機関
だからこそ
できることが
あります。

新潟県労働金庫

☎0120-191-880 新潟ろうきん 検索

(平日9:00~17:00)

お笑い事業団ニイガタ10周年記念誌へのご協賛各社

明日のために 私たちがめざすもの
——それは **美しい緑の創造**です。



造園工事設計・施工 / 公園緑地維持管理 / ゴルフ場の芝生施工・管理法面保護工事 / 新潟競馬場保守管理 / 地質調査

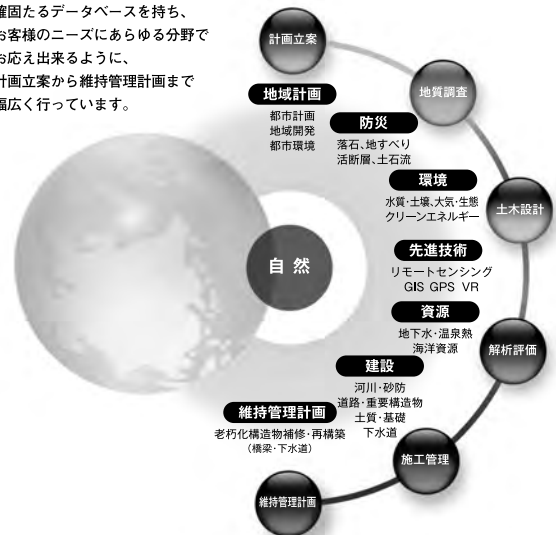
グリーン産業株式会社 代表取締役 荒川 義克

■本社 〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目2番10号
TEL 025-242-2711 FAX 025-242-2700
URL <http://www.green-s.co.jp/> E-mail mail@green-s.co.jp
■支店・営業所 長岡・上越・柏崎・村上・佐渡・燕・仙台・豊栄・西山作業所

KITAC 大地と対話、地域と歩む

創業より培った豊富な情報、
経験と技術力でタイムリーな対応を致します

地域密着型の総合建設コンサルタントとして
確固たるデータベースを持ち、
お客様のニーズにあらゆる分野で
お応え出来るように、
計画立案から維持管理計画まで
幅広く行っています。



Symbiosis with nature

株式会社 キタック
東京・上越・長岡・佐渡・仙台

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-2
TEL 025-281-1111 FAX 025-281-0001
<http://kitac.co.jp>

真言宗 智山派 普談寺

越後観音霊場 三十番札所
弘法大師霊場 四十一番札所

お届けしたい『人が心をよせる空間』



株式会社 **新潟藤田組**

〒951-8131 新潟市中央区白山浦 2-645-1
電話：025(266)1166 (代) FAX：025(231)2113

<URL> <http://www.n-fujita.co.jp>

お笑い事業団ニイガタ10周年記念誌へのご協賛各社



苔の種 販売始めました

(有) 渡部造園

〒959-2225 新潟県阿賀野市島瀬99の子
TEL (0250) 68-1900 / FAX (0250) 68-3990
URL <http://www.watabezoen.com/>

機能と調和を求めて頑張っています

(有) 下越歯研

新潟県阿賀野市金田町5-20 ☎ (0250) 62-3350



新車・中古車販売

車検 整備 板金塗装

有限会社 アルプスオート

新潟市西区山田3350番地 TEL (025) 265-8030

開食倶楽部 すず季

懐石料理をお気軽に

住所：新潟市中央区白山浦二丁目 645

TEL：025-234-5677

営業時間：昼 11:30 ~ 14:30

：夜 17:30 ~ 21:30

(オーダーストップ 21:00)

※ 日曜・祭日も営業しております。

URL：<http://kai-suzu.main.jp>



<あとがき>

“新潟を笑いで救おう”と熱のこもった船出から10年が経った。たかが10年、されど10年である。新潟に笑いを広げ、根付かせることの歩みは、決して平坦ではなかった。たくさんの新聞記事や写真、コメントなどを整理しながらイベントの歩みを懐かしく思い出す。

それはみな、笑顔、笑顔の10年の記録である。

新潟に笑いを振りまこうとの思いは、方向を変えながらも、着実にその種は蒔かれていると思う。

「記念誌—10年の歩みを」を編集しながら、各地の皆さまの笑顔を糧に、これからも一歩ずつ笑いを広げていきたいものと改めて思う。

この「記念誌」を、多くの皆さまにお読みいただき、これからも「お笑い事業団ニイガタ」の活動を、ご理解ご支援いただけたら幸いである。

(編集委員：喜多村園子・高橋玲司)

最近、
「笑」
ってる？

世の中、潤わなくっちゃね。

いちばん最近笑ったのは何時ですか。

世の中の潤いはお笑いから。

アナタの心は今、潤っていますか？

NPO法人 お笑い事業団ニイガタ

〒951-8067 新潟市中央区本町通 5-231
TEL 025-222-7801 FAX 025-222-7820
メール info@npo-owarai.com
ホームページ <http://npo-owarai.com>

